


つくばみらい市(つくばみらいし)

 市章等 〒 300-2395 〈住所〉 つくばみらい市福田195番地 〈TEL〉 0297-58-2111 〈FAX〉 0297-58-5611 〈HP〉 http://www.city.tsukubamirai.lg.jp 〈e-mail〉 infot@city.tsukubamirai.lg.jp	地域指定 近郊整備	一部事務組合加入事業 退職手当 消防賞じゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町 村会館管理 税滞納整理 火葬場 下 水道 ごみ処理、し尿処理 消防救急 地域交流センター 総合運動公園 視 聴覚ライブラリー 共同研修 防災セン ター 障害者支援施設 水防	公営企業 法適用(上水) 法非適用(公共下水 農 業集落排水)
	類型 I-1 地方公共 団体コード 082350 面積 79.14 km ²		

<行政組織>

①長等(平成24年5月1日現在)

長	かたにわ まさお 片庭 正雄 (62歳)	任期	平成26年5月13日
		就任回数	1期目
副市長	潮田 勝利		

②議会(平成24年5月1日現在)

議長	中山 栄一	副議長	海老原 弘
任期	平成28年2月29日	条例定数	18人
党派別	公明2人, 共産2人, 無所属14人		
現議員数	18人		

③職員数(平成23年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係		公営事業 会計関係		
	うち一般行政関係				
325	279	221	46		
一般行政職の 平均給料月額	3,188 百円	ラスパイ レス指数	97.7	地域手当 補正後 ラス指数	97.7
全職員数 の推移	平成20年4月1日	平成21年4月1日	平成22年4月1日		
	343	336	328		

④機構図(平成24年4月1日現在)

<市長>-<副市長>
 市長 公室-政策秘書課、企画課
 総務部-総務課、財政課、安心安全課(放射能対策室)、税務課(収納対策室)
 市民経済部-産業経済課、市民サポート課、生活環境課(廃棄物対策室)、
 市民窓口課
 保健福祉部-社会福祉課、子ども福祉課、介護福祉課、国保年金課、
 健康増進課(がん対策室)
 都市建設部-都市計画課、建設課、特定事業推進課、上下水道課
 <会計管理者>-会計課
 <教育委員会>-<教育長>
 教育部長-学校教育課(教育指導室)、生涯学習課(スポーツ推進室)
 <議会>-議会事務局
 <農業委員会>-農業委員会事務局
 <行政委員会>
 選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会

<概要>

①沿革

平成18年3月27日 合併
伊奈町 谷和原村

②地勢・風土等

つくばみらい市は、茨城県の南西部に位置し、首都圏40km圏にあり中央に広がる水田地帯と西部東部の台地に二分され、水田地帯には豊かな水を湛える小貝川が流れている。市の玄関口である常磐自動車道谷和原IC付近に常総ニュータウンの住宅地が整備され、またつくばエクスプレスみらい平駅周辺の開発も進められている。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成24年4月1日)
	平成12年	平成17年	平成22年	
人口	男	20,154	19,910	22,163
	女	20,378	20,264	22,298
	合計	40,532	40,174	44,461
世帯数	11,979	12,563	15,273	16,060

④有権者数(平成24年3月2日現在) ⑤高齢人口割合(H24.3.31住基人口)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	18,986	18,969	37,955	

<産業・経済>

①生産・所得(平成21年度)

市町村内総生産	1,169 億円	就業者1人当り	7,006 千円
住民所得	1,168 億円	人口1人当り	2,681 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成21年度)	就業人口(平成22年国調)
第1次	2,753 2.4%	970 4.4%
第2次	37,301 31.9%	6,275 28.6%
第3次	78,365 67.0%	13,618 62.0%
総額・総数	116,889 -	21,972 -

③農業・工業・商業

農業 (平成22年2月1日)	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
	2,013	191	2,044
製造業 (平成22年12月31日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H22.1.1~12.31)
	83	3,767	225,921
卸・小売業 (平成21年7月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	362	2,889	48,904

④特産物

コシヒカリ, 太郎兵衛もち米, みつば, トマト, 巨峰, ほうれん草(水耕栽培)

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成21年度決算	平成22年度決算	増減率
歳入	15,052,539	17,523,340	16.4
歳出	14,233,322	16,203,923	13.8
形式収支	819,217	1,319,417	-
実質収支	614,099	1,151,915	-
単年度収支	△ 67,996	537,816	-
実質単年度収支	169,962	848,137	-

②主な歳入・歳出(平成22年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	17,523	-	2,471	16.4
地方税	6,330	36.1	347	5.8
地方交付税	3,016	17.2	497	19.7
国庫支出金	2,445	14.0	658	36.8
地方債	2,371	13.5	1,097	86.1
うち臨財債費	1,176	6.7	-	-
その他	3,362	19.2	-	-
うち繰入金	50	0.3	-	-
歳出	16,204	-	1,971	13.8
義務的経費	5,999	37.0	617	11.5
人件費	2,690	16.6	△ 58	△ 2.1
扶助費	2,005	12.4	667	49.9
公債費	1,304	8.0	7	0.6
投資的経費	2,845	17.6	-	-
普通建設事業費	2,839	17.5	1,359	91.9
うち補助	2,147	13.3	1,555	262.7
うち単独	490	3.0	△ 148	△ 23.2
その他の経費	7,360	45.4	-	-
うち繰出金	2,205	13.6	-	-

③主要指標(平成22年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (13.27)
連結実質赤字比率	- % (18.27)
実質公債費比率	13.7 % (25.0) [11.1]
将来負担比率	109.4 % (350.0) [73.7]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成21年度～平成23年度)	0.742	[0.716]
経常収支比率	83.5 %	[87.0]
標準財政規模(平成23年度)	10,621 百万円	[14,967]
地方債現在高(A)	13,944 百万円	[22,297]
債務負担行為支出予定額(B)	1,257 百万円	[2,838]
積立金現在高(C)	3,717 百万円	[5,150]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	11,484 百万円	[19,985]

※1 ()は早期健全化基準, []は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成22年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税・個人(構成比)	2,409,480 (36.6)	2,276,179 (36.0)	94.5
市町村民税・法人(構成比)	725,656 (11.0)	719,505 (11.4)	99.2
固定資産税(構成比)	3,089,293 (46.9)	2,976,646 (47.0)	96.4
市町村税合計(国除く)	6,586,751	6,329,674	96.1

<公共施設整備状況>(平成22年度) ※のみ平成23年度

小学校 ※	10 校	プール	0 か所
中学校 ※	4 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※	5 園	老人福祉施設	12 か所
保育所	8 か所	病院・一般診療所	19 か所
図書館	1 か所	道路改良率	18.9 %
公営住宅	101 戸	道路舗装率	71.7 %
公民館等	2 か所	上水道等普及率	97.2 %
体育館	1 か所	汚水処理普及率	82.0 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
東楢戸・台線整備事業	H18～H27	つくばエクスプレスのみらい平駅周辺から国道354号線までの道路整備事業。	5,930
豊体・横町下宿線道路整備事業	H18～H25	豊体地内交差点の道路の渋滞解消と安全を確保し、交通の利便性の向上を図る道路整備事業。	992
(仮称)陽光台小学校建設事業	H23～H26	みらい平地区陽光台小学校施設の建設事業。	4,962
(仮称)みらい平地区コミュニティセンター整備事業	H23～H26	みらい平地区にコミュニティセンター施設の建設事業。	850

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題> ・合併特例債事業・東楢戸台線および豊体横町下宿線の整備事業推進 ・(仮称)陽光台小学校建設事業および(仮称)みらい平地区コミュニティセンター整備事業 ・新総合計画の策定 事業仕分け等による行財政改革の推進 保育医療・子育て環境の充実 将来を展望した広域的な交通体系の整備 ・産業活動の活性化 ・人材育成のため教育環境の充実 <特色ある行政> 「子どもたちに誇れるまちづくり」 ・行財政改革の推進と市民サービスの向上 ・市民との協働によるまちづくり ・将来を展望した広域的なまちづくり ・市民の生命と財産を守り、安心・安全な環境づくり ・農・工・商業の振興を図りまちに活力と賑わいの創出 ・保健・福祉サービスの充実した人々のふれあえるまちづくり ・人材の育成と市民の明るさがあふれたまちづくり
